

証券市場新聞

1 第123号

日経平均株価

2万1454円30銭

▲295円22銭(前日比)

TOPIX

1716.30

▲12.30(前日比)

2018

4/2

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



19年3月慎重な予想か？

新年度相場での業績動向を占う

名実ともに新年度相場が始動する。2018年3月期は、アベノミクスや円安効果などによる好調な企業業績を背景に日経平均は連騰記録を更新、今年1月に2万4129円34銭の高値を更新したが、その後は国内では森友学園問題に端を発した支持率低下、海外ではトランプ大統領の関税引き上げによる貿易戦争への懸念から株価は大幅な調整を余儀なくされた。円高への不安も高まり経済の先行きが混沌となるなかで、19年3月期の企業業績予想が注視される。

実態以上に売られた銘柄を見直し



トランプタワーと星条旗

3月23日に、鉄鋼・米トランプ政権がアルミニウム製品の輸入制限を発動し、中国やロシアなどが対抗措置を表明するなど、貿易戦争への懸念が高まるなかで新年度を迎える。日本も輸入制限の適用対象になってきていることから、足元の円高基調を含めて今後、本格化する

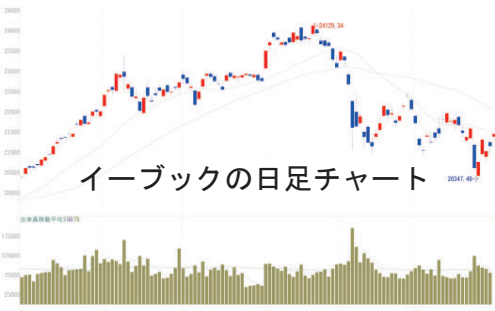
る3月期決算企業の業績予想も慎重になる可能性が高そうだ。因みに米国の2017年の鉄鋼製品の輸入量は約3800万トンで、日本からの輸入に占める比率は約5%に過ぎない。製造できない高品質の製品も多く、それらは今後の交渉で関税引き上げの適用除外になる見方が多く、鉄やアルミに関連す

る企業の中でも実態以上に売られている企業は見直せそう。3月19日に18年3月期業績予想と期末配当を引き上げた大紀アルミニウム工業社(5702)。同社はアルミ2次合金

国内トップ企業で、社名にアルミの名を冠しているところから増額発表後の買い巡りに大きく下落したが、海外ではドネシア第2工場が1月から量産開始するなど主戦場は東南アジア。同社以外にも今回の関税引き上げの直接的な影響が少ない企業は多い。貿易戦争による世界的な景気減速の影響から慎重な業績予想を打ち出している企業の中でも、個々の企業実態を吟味したうえで、売られた場面では絶好の押し目買い好機になるものはありそう。

日経平均日足チャート





間で、電子書籍事業で業務提携を行うと発表されたことが材料視された。今回の業務提携により、同社がこれまで培ってきたマーケティング、システム開発、出版

イーブックはS高

ヤフーと電子書籍で提携

26日、イーブック、インシブジヤパン(3658)がストップ高。ヤフー(4689)との

今週の動意銘柄

社との取引業務などにおける知見を活用しつつ、電子書籍事業においてヤフーと連携し、更なる成長を目指す。

リコー赤字転落

26日、リコー(752)が3日続落。同社は23日の取引終了後、18年3月期の連結業績予想の修正を発表、売上高は2兆400億円(前期比0.5%増)で据え置いたが、営業損

益を200億円の赤字から1600億円の赤字(前期338億8000万円の赤字)へ、最終損益を収支均衡から1700億円の赤字(同34億8900万円の赤字)へ下方修正した。2008年に買収したIKON Office Solutions, Inc. (現RUS)に係るのれん等の固定資産の減損損失として約1400億円を計上

することが影響している。

公募価格の2.3倍

ファイバーGの初値

26日、前週末に東証マザーズ市場に新規上場したファイバーゲート(9450)が公開価格1050円の2.3倍にあたる2388円で初値が生まれた。同社は集合住宅及び商業施設などにおけるWi-Fiサービスの提供を行う。

ファステック 仮想通貨で提携

26日、ファステック(2338)が6日続伸、年初来高値を更新した。孫会社であるBIT ONE HOLDING LTD (BIT ONE) がアルデ

と発表した。アルデプロは現在、仮想通貨による不動産の販売を行っているが、販売する際の仮想通貨によるプライシングや、販売後の仮想通貨の法定通貨への換金方法等に関して、Bitcoin One香港が助言していくことが目的としている。

アルゴグラフは増額

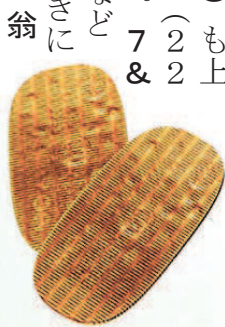
27日、アルゴグラフ(7595)が急伸、一時ストップ高まで買われた。18年3月期の連結業績予想を売上高で370億円から401億円(前期比15.1%増)へ、営業利益で32億円から37億1000万円

正直じいさんの株で大判小判

東京市場は続伸しました。米株式市場がハイテク株を中心に買い戻され大幅に反発した流れを引き継ぎ、買いが優勢でした。上値メドとして意識されていた200日移動平均を上回ったこともムードを明るくしています。イースター休暇で海外投資家の動向が懸念されましたが、へ向けて需給改善期待堅いとの見方が優勢で、資家の動きは期待薄でともに新年度相場で期待されます。

新規資金の流入に期待

規資金の流入がピクアップ(6896)が(6088)はウルドアウト(9417)も上バリュー(2267)は底堅い動き。7&iHD(3382)なども注目です。



花咲翁

中国関連を見直す

27日、コマツ(6301)など中国向け売上比率の高い銘柄が買われた。米中貿易摩擦緩和に向け両政府が水面下で交渉を始めたことと伝わったことで、買戻しを交えてみ直す動きとなった。

(同19.3%増)へ上方修正、期末配当を33円から40円(前年同期36円)へ引き上げた。製造業における旺盛な研究開発及び設備投資意欲を背景に、システム構築支援を中心としてPLM事業が好調に推移している。

半導体関連軒並み高

SOX指数4%超の記録的上昇

27日、東京エレクトロン（8035）、SCREENホールディングス（7735）が急反発したほか、ディスコ（6146）やSUMCO（3436）も買われるなど半導体関連株が軒並み高。前日の米国株が大幅高となり、アプライドマテリアルズやインテルなど半導体関連株



金属のように衝撃吸収

東レ

環動ポリマー構造導入したFRP

分子結合部がスライドする環動ポリマー構造を導入した新しい繊維強化プラスチック（FRP）を開発した。内閣府総合科学技術・イノベーション会議が主導する革新的研究開発推進プログラム（IMPACT）伊藤耕三プログラム・マネージャの研究開発プログラムの一環として開発した新材料で、従来のポリアミド樹脂やガラス繊維強化ポリアミド樹脂に比べ、高い衝撃エネルギーを吸収することから、自動車、家電、スポーツ用品など、幅広い分野への応用展開とポリマ

東レ（3402）は

材料市場の拡大が期待されるという。分子設計に加え、ナノアロイ技術を適用してポリマー材料へ環動ポリマー構造を導入した「しなやかでタフなポリマー」開発技術を開発した。繊維強化プラスチックに應用、従来の材料と比較して約4倍のエネルギー吸収性と繊維強化プラスチックでありながら、15%超の引張破断伸びを実現した。さらに、環動ポリマー構造の強化繊維表面への導入により、繊維強化プラスチックが持つポテンシャルを最大限に引き出せる可能性があるとしている。

28日、セルシード（7776）がストップ高まで買われ、昨年来高値を更新。移植用「軟骨再生シート」について、欧州で基本特許が成立する見通しとなった

セルシード特許成立

28日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したRPAホールディングス（6572）は公開価格3570円の4倍となる1万4280円で初値が生まれた。事務作業代行ソフトウェア販売などを行うロボットアウトソーシング事業とアフィリエイトトナービスを行うアドネットワーク事業を展開する。

RPAの初値

公開価格の4倍

28日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したRPAホールディングス（6572）は公開価格3570円の4倍となる1万4280円で初値が生まれた。事務作業代行ソフトウェア販売などを行うロボットアウトソーシング事業とアフィリエイトトナービスを行うアドネットワーク事業を展開する。

で構成されるフィラデルフィア半導体株指数（SOX指数）は4%を超える記録的な上昇となったことから、海外関連株高の流れが東京市場にも波及した。為替が105円60銭台の円安に振れたことも買い安心感を誘った。

カーディナルS高で新値

27日、カーディナル（7855）がストップ高まで買われた。日本経済新聞が「セブン・イレブン」

トランザク値下りトップ

28日、トランザクシオン（7818）が急反落、東証1部値下がり率トップとなった。18年8月期の第2四半期累計の連結業績予想を修正、売上高を70億210

ジャパンはICタグを使い負担が大きかった店舗での検品作業を大幅に効率化する」と報じたこと刺激材料になった。27日からおにぎりや弁

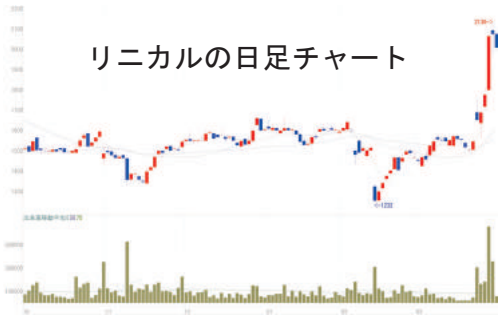
当などの商品でICタグを取り付けた納品ケースを導入。ケース単位で検品できるようにして作業時間を約6割削減する。人手不足が進む中、

従業員の時間を有効活用し店舗の競争力を高めると伝えており、改めてICタグ向け樹脂カードへの引き合い増加を期待した買いが向かった。

と発表した。移植された軟骨再生シートは軟骨再生に必要なタンパク質の分泌や損傷部分の保護、本来の軟骨組織への再生に貢献。東海大学が先進医療申請を準備しており、保険導入の一助となる。

リニカル急伸し高値

米医薬開発受託会社を子会社化



28日、リニカル（2183）が急伸、昨年来高値を更新した。米国リニカル社を通じて米国を本拠国として主に医薬品開発業務を受託事業を行うAcceliovance社を完全子会社化すると発表したことが材料視された。Acceliovance社は、米国を拠点に、米、欧州、中国に当社グループが注

力しているがん領域の臨床試験を含め、グローバル大手製薬企業や製薬ベンチャー企業に対する国際共同試験をはじめとする豊富な試験の実施経験を有している。

29日、武田薬品工業（4502）が急落。28日、アイルランドの製薬大手「シャイアー」のM&A（合併・買収）を検討していることを明らかにした。シャイアー社はロンドン証券取引所に上場しており、時価総額は4兆円強。実現すれば5兆円規模と日本企業による海外企業買収では過去最大となり、資金負担による財務悪化を警戒した売りが膨らんだ。

会社側はこの日取引開始前に「シャイアー社に対して、何らかの提案を検討していることは事実だが、その検討はごく初期かつ調査段階で、まだいかなる提案もしていない」とコメントした。

29日、ODKソリューションズ（3893）ストップ高まで買われた。18年3月期の連結業績予想を売上高は49億円（前期比13・7%増）で据え置いたが、営業利益を1億9000万円から3億7000万円（2・3倍）へ、純利益を1億4000万円から2億6000万円（同2・1倍）へ上方修正した。学校法人向け業務（入試アウトソーシングサービスなど）で処

29日、アズ企画設計（3490）がジャスダック市場に新規上場、公開価格2160円の2・2倍となる4075円で初値が生まれた。同社は不動産の売買、賃貸借、管理を行う。

武田薬品は急落

大型買収検討で資金負担警戒

ODKストップ高

転ばぬ先のテクニカル

4月相場に期待！ 3月相場が終わりました。日経平均の月足は下髭の陰線形成。2月より続落ですが、12カ月移動平均線を一時下回りながら月末には回復したことで、4月相場への期待が持てるかたちとなりました。

年始から11週間、外国人投資家は7兆7000億円売り越してきましたが、3月第3週の売り越し額は2566億円と11週中一番少なく、既に峠を越した感があります。その外国人投資家が日本株投資で受け取る配当金総額は3兆円を超えと言われており、その一部が再投資に回るとすれば、4月相場は期待が持てます。

期末決算を通過して日本企業の円買い圧力も緩むことで、為替市場でも円高修正の動きが考えられることから、日経平均は1月高値から3月安値の下げ幅の半値戻しとなる2万2238円、更に61・8%戻しに相当する2万2484円を目指すことになりましょう。 日々勇太郎



防衛関連値を崩す

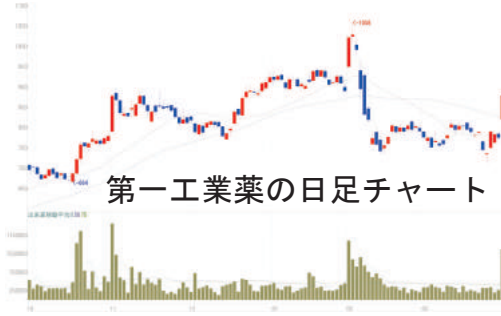
29日、豊和工業（6203）や石川製作所（6208）、細谷火工（4274）をはじめとした防衛関連が大きく値を崩した。中国の習近平総書記と北朝鮮の金正恩朝鮮労働

29日、クリーク・アンド・リバー社（4763）が急反発、一時上昇率は10%を超えた。28日取引終了後、集計中の18年2月期連結業績を上方修正したことが好感された。

29日、アズ企画設計（3490）がジャスダック市場に新規上場、公開価格2160円の2・2倍となる4075円で初値が生まれた。同社は不動産の売買、賃貸借、管理を行う。

29日、アズ企画設計（3490）がジャスダック市場に新規上場、公開価格2160円の2・2倍となる4075円で初値が生まれた。同社は不動産の売買、賃貸借、管理を行う。

29日、アズ企画設計（3490）がジャスダック市場に新規上場、公開価格2160円の2・2倍となる4075円で初値が生まれた。同社は不動産の売買、賃貸借、管理を行う。



第一工業薬の日足チャート

週末30日、第一工業製薬(4461)が急騰、上昇率は一時13%を超えた。日の取引終了後、1829年3月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を578億円(前期比8.9%増)へ、営業利益を40億円(前期比50%増)へ上方修正、期末一括配当を12円から14円(前期12円)

一工業は上昇率13%超

付加価値品伸び今期上方修正

へ引き上げた。「界面活性剤」や「機能材料」セグメントのIT・電子用途などを中心とした高付加価値品が顕著に伸びている。

神戸天然はS高

30日、神戸天然物化学(6568)がストップ高。大阪大学と共同で創製したがん細胞に特異的に発現するアミノ酸トランスポーターLATTIの阻害剤に係わる特許について、ジェイファーマ(横浜市)との間で再実施許諾権付独占的実施許諾契約を締結したと発表した。契約に基づき、神戸天然物化学と大阪大学はジェイファ

公開価格の2.7倍

30日、前日に東証マザーズ市場に新規上場した和心の初値は公開価格1700円の2.7倍となる4527円となった。同社は和装小物の販売及び着物レンタルを展開する。

公開価格の5.2倍

30日、東証マザーズ市場に新規上場したジャイルメディア・ネットワーク(6573)は公開価格3000円の5.2倍となる1万5470円で初値を付けた。ソーシャルメディアや体験を通じたファン発見・活性化・分析サービス「アンバサダープログラム」を提供する。

今週の動意銘柄

◎6ヵ月50%高前後目標の(門外不出)大伸流底値先回り買成功法試見

◎暴落底値買に暴落の心配なし・下記銘柄に天与の買場接近す(3月27日)

- 三菱UFJ** →1月16日の高値894.4円より業績ダウンにて600円台に暴落中なり大局1100~1200円に上昇するための最後の買い場なり0000円断固買
- 新日鉄住金** →1月9日の高値3132円よりトランプショックにより2000円台に暴落し新安値更新中なり。株は安きを買うものなり3500円目標断固買
- 三菱地所** →住友不動・東急不動等に比して新安値突入の出おくれ銘柄なり即ち2443円の高値より1700円台は正に陰の極なり断固買なり

迷える投資家の杖味方・買値及び売値予想ズバリ教えます お試しください

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

大伸経済研究社 会費1ヶ月50万円、2ヶ月80万円(継続同額)(税込) (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照) 将来の運用成果を約束するものではありませんが(銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)

公表銘柄は一例であり全てではありません 目標値は当社独自の分析による予想値です 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はこちらをクリック!](#)

チャート から読む 騰落銘柄

ソースネクスト (4344)



3月26日に700円割れまで下落したが、25日線や50日移動平均線を下値支持ラインに底堅い動き。通訳機「POCKET TALK（ポケトーク）」の引き合い活発化。好実態から800円台回復に期待。

ブレインパッド (3655)



AI関連の中核銘柄として改めて市場の関心を集め、大勢上昇トレンドのなか、5日移動平均を下値支持ラインに上昇再開。信用買い残、日証金融資残の整理も進み、株価噴き上げのタイミングが近い。

サン電子 (6736)



3月7日にザラ場で779円の高値を付けた後に急速に値を崩す動き。パチンコ分野から新分野へのシフト遅れも懸念材料で、2月6日の安値658円も意識。買い残多く需給面でも圧迫感が意識されそうだ。

IGポート (3791)



3月5日に付けた年初来高値4435円で天井感。5日移動平均に上値を抑えられ、ほぼ一本調子の下げが続く。日足がデッドクロス、13週移動平均も割り込み、26週線が走る2500円近辺までの調整も。

※チャートは日足

潮流

4月から本格的に上昇

株式市場は悪材料をすべて織り込む

marKet/bAnk

米国FRBは3月21日にパウエル新議長就任後初のFOMCを開いて3カ月ぶりの利上げ

に踏み切った。パウエル議長は政策運営に中立的な姿勢を強調した。

利上げに前向きな姿勢を示すと予想されていただけに市場の評価はプラスだ。3月22日に米国のトランプ大統領は600億ドル（約6兆3000億円）もの中国製品に高関税を課す対中制裁を決め、鉄鋼・アルミニウムの輸入制限を発動する大統領令にサインをした。米国と中国との貿易戦争拡大に繋がると世界経済にとって大きなマイナスだ。しかし、25日に中国が米国との貿易摩擦の激化を回避するため、海外の金融機関の資本規制の緩和や米国から多くの半導体を購入することを検討していると報じた。一方、中国は米国債の売却も報復措置として例外ではないと伝えている。

中国の米国債保有額は1兆1800億ドルと海外勢で最大であり、もしこれを売りに出せば米国経済は多大な打撃を受ける、ということを考えれば米中の貿易戦争は一過性に終わることが考えられる。27日には米中が貿易摩擦の回避に向けて歩み寄っていると伝わった。

さらに、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が

北京を電撃訪問したというニュースが伝わった。習近平国家主席と初めての首脳会談を行い、米国に対しての対応を協議したに違いない。トランプ大統領は金委員長が核兵器プログラム

の廃止の話し合いに前向きだと鄭義溶・韓国国家安保室長らから聞き、米朝首脳会談の提案を受け入れたという。習近平国家主席は米国の中国に対する圧力を回避するために北朝鮮をカードに使うだろう。習国家主席が金正恩委員長に北朝鮮への経済支援を条件に密約を交わしているに違いない。5月の米朝首脳会談が多く予想に反して成功すれば、トランプ大統領の評価は一気に高まる。歴史的な平和貢献を行った米大統領として歴史に名を残すだろう。

国内では27日に学校法人「森友学園」を巡る決裁文書改ざんに関する証人喚問で、佐川宣寿前国税庁長官は安倍晋三首相から指示は無かったと述べた。安倍昭恵首相夫人や麻生太郎財務相らの関与も否定した。このように悪材料は全て市場に織り込み、逆に4月からは好材料が株式市場を大きく押し上げる動きに変わるだろう。

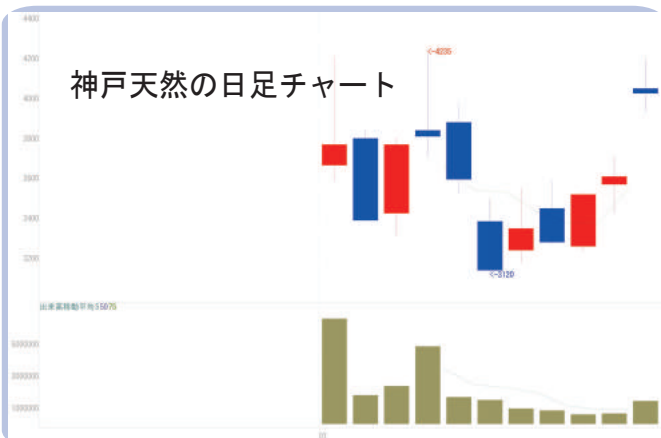
潮流銘柄は神戸天然物化学（6568）、KHネオケム（4189）、インベスターズクラウド（1435）。



岡山 憲史氏 株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテント「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。 <http://marketbank.jp>

神戸天然の日足チャート



米朝会談成功なら評価一変

高野恭壽の 株式情報

これでどや!!

4月は上げピッチ速まる

株式市場新聞の名物コーナーが復活!

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。



米国株式の下げ渋りと円相場が107円台まで安くなったことをみて、29日の東京市場は寄り付きから200円程度の上昇で始まりまし
た。円安に振れた要因は北朝鮮の金正恩委員長と中国の習近平主席の首脳会談が電撃的に実現し、非核化に前向きな姿勢を示したことを受けて、日本の地政学的リスクが弱まったことによるものでした。その後も上値を追ったのですが、これまでに波乱の動きが続いてきたため、上げ過程では「とりあえず戻したところでは売

いずれの懸念材料も過剰

すので、その警戒感もでたのみ
られます。そうした理由からせ
つかく200円以上戻したにも
関わらず、ギリギリと下げてつ
いには前日の終わり値を下回っ
て30円安程度まで売られました。
しかし、そこまで下落すると売
り物も薄くなり、逆に押し目買
いが入り、引けにかけては買い
戻しの勢いが強まり、結局12
7円高と2万1159円で引け
ました。
円安に働いても輸出系の戻り
が鈍く、内需系が中心になって
います。日経平均は戻りの鈍さ
が懸念されていますが、2、3
月に大波乱を続けていましたの
で、そのトラウマが戻りを鈍く
していると思われる。しかし、
いずれの懸念材料も過剰であつ
たことが明らかになっていくと
考えられ、4月には上げピッチ
は速まっていくものとみられま
す。したがって、上げ幅が十分
でないことを気にする必要はな
いとみています。2万2500
円どころまでの戻りは十分に予
想できると思っています。

ておこう」との投
資判断が働いたと
みられます。また、
月末はこれまで大
きく売られていま
す。760円以上の戻りがな
ければ一部、処分も考える必要
があります。あれだけの収益力
が株価に反映されないのが不思
議でなりません。ここは凌ぐと
ころです。新田ゼラチン(49
77)はギリギリと水準を上げ
ていますが、本格的な上げはま
だみられません。下値不安がな
い分、いまのところ良しとしな
ければならないのかもしれない
ん。爆発高を期待して待ちまし
よう。
アイフル(8515)が因縁
場の350円前後の局面を突破
しはじめています。更なる上値
を追う可能性が高くなりました。
協和発酵キリン(4151)が
高値更新まであと、一步と迫っ
ています。一段高を見込めそう
です。JVCケンウッド(663
2)はまだ、エンジンがかかっ
ていませんが、決算発表でドラ
イブレコーダの爆発的な売り上
げが明らかになり、上値追いも
本格化するでしょう。本日の狙
いはサ
ントリ
ー食品
インタ
ーナシ
ヨナル
(25
87)
です。

高野恭壽公式ホームペ
ージ

高野恭壽の株式情報こ
れどや!!

http://www.kabu-
takano.com/

毎日情報を配信中!

今週の

活躍期待銘柄



イーレックス (9517)

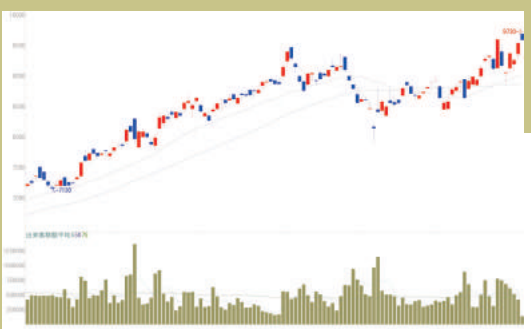
新たな契約効果が表面化へ

イーレックス(9517)の株価は3月26日に695円の年初来安値を更新していたが、その後は出直りに転じてきた。好実態が評価されれば、1月下旬までの揉み合いゾーンである1000円台までの上昇が期待できそうだ。

電力自由化とともに特定規模電気事業者として3番目に登録した新電力会社で、現在では電気・ガス部門に、発電から販売までエネルギー事業を幅広く手掛ける。低圧小売事業では、エイブルとの賃貸物件オーナー向け専用プランの開始や家電量販店やケーブルTVとの新たなパートナー契約が続々と開始され、18年3月期は通期連結営業利益で44億9200万円(前期比27.1%増)を見込む。

電力消費過程におけるCO₂の排出量を、質的・量的に削減し、Co2ゼロプランの収益貢献も期待も強い。

Co2ゼロプランへ期待強い



シスメックス (6869)

直近3カ月は37%営業増益

シスメックス(6869)がすかさず切り返し、青空相場に突入した。

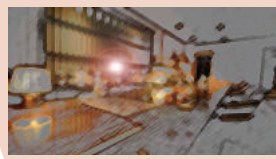
血球計数分野で世界をトップいく検体検査機器大手で、国内外で血球計数検査、血液凝固検査分野向け試薬が伸び、業績は計画を上回って推移。

18年3月期は期中上場修正で連結営業利益580億円(前期比12.2%増)を見込むが、直近3カ月(9~12月)の営業利益は165億7700万円(前年同期比36.7%増)と増益ペースに加速しており、一段の上振れの可能性が大きい。OGT(オグティクス)により細胞遺伝学(ゲノム)検査の基礎技術基盤を強化、バイオインフォマティクスを中心とした情報解析技術への取り組みの成果が表れるのはこれからで、来期も一段の収益拡大が有望だ。

成長性の高さに加え、信用倍率1.04倍の好需給も株価を押し上げる。

今後はゲノム検査の成果も

本紙関係者 座談会



給面での圧迫は解消されたこと、需

領が関税引き上げの調印時の演説で安倍首相

RPA関連物色の広がりに期待

も指数を圧迫していたが、27日の権利配当日を通過したことで、需

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。

M ただ、米中貿易摩擦に

も指数を圧迫していたが、27日の権利配当日を通過したことで、需

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。

M ただ、米中貿易摩擦に

M すでにジェクシード（3719）やエル・テイ（6560）に動きが出ていくけど、AIによる機会学習などIT技術全般が深く関与するため、銘柄のすそ野は広いようだ。

も苦勞したと思うけど、M君からそんな現状を分析してもらおう。

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。

M すでにジェクシード（3719）やエル・テイ（6560）に動きが出ていくけど、AIによる機会学習などIT技術全般が深く関与するため、銘柄のすそ野は広いようだ。

M すでにジェクシード（3719）やエル・テイ（6560）に動きが出ていくけど、AIによる機会学習などIT技術全般が深く関与するため、銘柄のすそ野は広いようだ。

17日から日米首脳会談

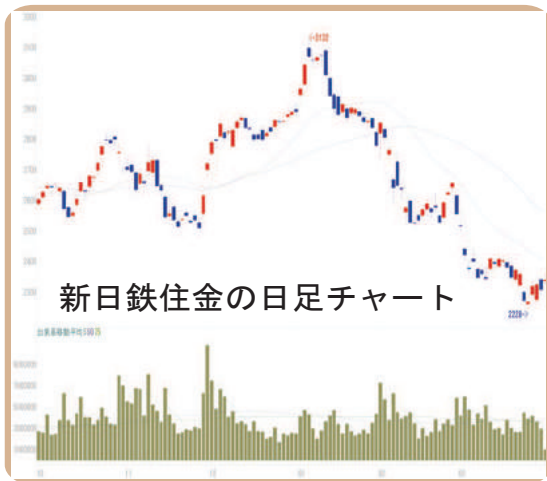
年度末に絡む 需給圧迫解消

と考えてよさそうだ。

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。

を批判したような報道が流れていたけど、英文を読んでみると、トランプ大統領は安倍首相に対して「great（偉大）」という言葉を使っていたから、日本のマスコミの翻訳に違和感を感じている。首脳会談では、常識的な交渉が行われ、鉄やアルミで日本からしか調達できないものなどは引き上げ除外になる可能性が高いと思う。そうなれば、新日鉄住金（5401）、ジェイエフイーホールディングス（5411）など鉄鋼やアルミ関連株の見直しが進むと思うけどね。



しても森友問題にしても根本的に解決したわけではない。NY株もまだボラティリティの高い状態が続いており、主力銘柄には手を出しづらい。しばらくは中小型株の局地戦が続きそう。

何か新しいテーマが欲しいところだね。テーマ株物色が広がれば、市場のムードも変わるんだけど。

T 3月28日に東証マザーズ市場に新規上場したRPAホールディングス（6572）が上場2日目に公開価格の4倍もの高値で初値を付けたことで、RPA関連銘柄に関心が高まってきたよ。RPAとはロボテック・プロセス・オートメーションの略で、例えばパソコンでの事務処理をソフトウェアロボットが人に代わってするイメージなんだ。業務効率化はもろろん、人為的なミスもなくなるので業務の精度も上がる。

S

星野三太郎の 株街往来

～高齢化する個人投資家～

2月

から3月にかけては数回ほど仕事の都合でIRセミナーに出かけた。どのセミナーも少ない時でも150名ほどの方が来場して盛況だったが、数年前と比較して年齢層が高くなったことを感じた。

筆者が十年ほど前に三重県の地方都市で講師を務めたときは、若い投資家が目についたが、その当時から新たな個人投資家が増えていない印象だ。長年、株式売買をされてきた方が定年退職後も年金資産を活用して趣味を兼ねて株式売買を続けている方が多く、そんな方がセミナーに訪れているが、その一方で、人手不足のご時世とは言っても派遣などで低賃金に働く若者が多く、株式投資などする余裕がない若者も多い。

仮想通貨で「億りびと」になった方はごく僅かな人に過ぎない。昨年、株式市場が連騰記録を更新したが、今年に入っては2月と3月の2カ月連続での暴落となり、異常な値動きの荒さも、新たな投資家層が増えない一因になっているだろう。問題はいろいろあるが、政治家の方々の健全な経済運営とAIなどで乱高下する市場運営の見直しが必要と感ずる。



New product

TOA 壁掛型AHDレコーダー 8局 高画質防犯カメラシステムを拡充



壁掛型AHDレコーダー 8局

TOA(6809)は高画質の防犯カメラシステム「AHDカメラシステム」を拡充し、「壁掛型AHDレコーダー 8局」を発売した。

AHDカメラシステムは、AHD規格を採用し、従来のアナログカメラシステムの約6

倍(同社比)にあたるフルHD画質の高精細映像が撮影可能な防犯カメラシステム。新商品はカメラ映像の録画機能、閲覧用の液晶モニター、カメラに電源を供給するカメラドライブレユニットを、省スペースの壁掛型筐体に一体化。店舗のバックヤードなど狭いスペースにも設置でき、「見る」「撮る」「再生する」という防犯カメラの基本的な機能をオールインワンで利用できる。

廃棄物処理業務に参画

クボタ

福島県双葉町の減容化施設

クボタ(6326)の100%子会社である、クボタ環境サービスを含めた特定共同企業体は、環境省福島地方環境事務所との間で「双葉町減容化施設における廃棄物処理業務」を受注した。

2011年3月の東日本大震災により発生した災害廃棄物のうち、可燃物を処理するため、国は2014年から各地区に仮設焼却炉を設置し、処理を進めている。

今回の案件は福島県双葉町において発生し、または中間貯蔵

施設に搬入された放射性物質に汚染された廃棄物の処理を行うため建設される。

今回、同社グループを含む特定共同企業体が、特に豊富な実績と技術面で高く評価され受注に至った。香川県豊島における不法投棄廃棄物の処理をはじめとする20件以上の納入実績を活かし、主に「焼却灰」と「ばいじん」を減容化する溶融施設の建設・運営業務を担う。

契約金額は約1200億円、施設規模は仮設灰処理施設…回転式表面溶融炉75トン/日×2炉、仮設焼却施設…シャフト炉式ガス化溶融炉 150トン/日×1炉

企業レター

敏腕先物トレーラー

ハチロクの裏話

の上値を買う主体がないというところである。企業の為替予想が約110円なので、このままの為替推移だと今期は全体で減益見通しとなる可能性もでてくる。日経平均の現在のPERは約12.5倍。年初の15倍台に比べれば割安の状態ではあるが、今期見通しが減益となれば割安感はなくなる。海外投資家の継続的な売りはそれ資家の継続的な売りはそれ

今月も上下に大きく振れる

日中値幅大きく振るい落としに注意

東証が発約110円なので、このままの為替推移だと今期は全体で減益見通しとなる可能性もでてくる。日経平均の現在のPERは約12.5倍。年初の15倍台に比べれば割安の状態ではあるが、今期見通しが減益となれば割安感はなくなくなる。海外投資家の継続的な売りはそれ資家の継続的な売りはそれ

6億円を売った。新しい。最近では日々でも300円

11週連続と場は週初高は期待できるが、程度値幅がでており、振る

なり、この後は揉み合いから調整い落としには注意である。

間の売り越となりそうである。毎月二日新市は荒れるの諺ど

し額の合計初は積み立てており、月振れ

は8・4兆入ると言われており、月初

円に達した。は高いというアノマリーが

一方、個人投資家は3月末で一旦ポジション

人投資家は3月末で一旦ポジション

5304億を解消させられるので、4

円の買い越月の初日は買いから参戦す

しで、現物株が3316億ある。

円と大半を占めた。配当取

り狙いもあり、株式相場が

急落した場面でも積極的な押

し目買いを入れていたよう

だ。海外投資家は3週連続

で売り越し額は減少したが、

まだ「日本売り」を継続さ

せているという事は株価

(2万1330円)を抜

ク(ハチロ

今週のスケジュール

- ・ 31日 中国3月製造業PMI (10:00)
- ・ 1日 米韓合同軍事演習開始
- ・ 2日 3月調査日銀短観 (8:50)
3月新車販売台数
米3月ISM製造業景況指数 (23:00)
- ・ 3日 3月マネタリーベース (8:50)
10年国際入札
米3月新車販売台数
- ・ 4日 米3月ADP雇用統計 (21:15)
米3月IS非製造業景況指数 (23:00)
- ・ 5日 「生活意識に関するアンケート調査」の結果
- ・ 6日 2月毎月勤労統計調査 (9:00)
2月景気動向指数 (14:00)
米3月雇用統計 (21:30)

電撃的な中朝首脳会談で、金正恩・朝鮮労働党委員長が非核化に言及したことが伝わり、ひとまず地政学リスクは後退した。来月27日には南北首脳会談も予定され、軍事オブションという最悪の事態は避けられそうだが、見返りに米韓合同軍事演習やサード配備中止など、米国による軍事圧力を弱めたい北朝鮮と日米韓軍事同盟を嫌う中国の利害が一致したとの見方が強い。今はカヤの外に置かれていられる日本も経済支援には駆け出し核を手交する場面に臨むことになる。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。